# 垂水市教育委員会

令和８年度第６回教育委員会定例会

開催日　　令和８年９月14日(月)

時　間　　午後２時から

場　所　　市民館２階第２研修室

会議日程

１　開　会

２　令和8年度第5回定例会会議録の承認について

３　議　事

※(非)印の案件は、非公開となる場合があります。

報告第22号　令和８年度垂水市一般会計補正予算（第４号）案についての市長への意見申出について

(非)議案第８号　垂水市教育支援委員会答申について

４　動議の討論等

５　その他

６　委員並びに教育長及び課長報告

７　閉　会

# 令和8年度　第6回教育委員会定例会

## 日時、場所及び出席者

| 日時及び場所 | 出　　席　　者 | |
|---|---|---|
| 令和8年9月14日（月）<br>午後2時00分<br>↓<br>午後3時00分<br>第２研修室 | 教　育　長　明 石　浩 久<br>教 育 委 員　吉 冨　和 夫<br>教 育 委 員　葛 迫　幸 平<br>教 育 委 員　田之上　厚美<br>教 育 委 員　福 里　由 加 | 教育総務課長　堀　留　　豊<br>学校教育課長　西　　啓　亨<br>社会教育課長　大 迫　隆 男 |

## 会　議　要　旨

１　開　会

定足数に達しており、令和８年度第６回教育委員会定例会を開会した。

議案第８号については、非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で可決された。

２　前回会議録の承認について

令和８年度第５回教育委員会定例会の会議録について、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で可決された。

３　議　事

報告第 22 号　令和８年度垂水市一般会計補正予算（第４号）案についての市長への意見申出について

議案第８号　垂水市教育支援委員会答申について
（非公開）

４ 動議の討論等

５ その他

6 委員並びに教育長及び課長報告

7 閉 会

## 議 決 事 項

| 件　　名 | 提案等理由 | 審議の状況 | 採決の次第 |
|---|---|---|---|
| 報告第22号<br>令和８年度垂水市一般会計補正予算（第４号）案についての市長への意見申出について | 補正予算案の調製にあたり、市長から教育委員会の意見を求められたが、急施を要したため、教育長の臨時代理により意見の申出を行ったことを報告するもの | 特記事項なし | 承 認 |
| 議案第８号<br>垂水市教育支援委員会答申について | 垂水市教育支援委員会規則第２条第２項に基づき審議した結果が、別紙答申書により答申されたため、会議に付するもの | 非公開 | 承 認 |

## 議 事 内 容 等

| | |
|---|---|
| ３　議　事 | |
| 教育総務課長 | 報告第 22 号<br>令和８年度垂水市一般会計補正予算（第４号）案についての市長への意見申出について<br>＜資料に沿って説明＞<br>（質疑）　なし<br>（採決）　承認 |
| 学校教育課長 | 議案第８号<br>垂水市教育支援委員会答申について<br>＜非公開＞<br>（採決）　承認 |

| | |
|---|---|
| ４　動議の討論等 | （なし） |
| ５　その他 | （意見交換）瀬戸口藤吉翁愛用のピアノについて |
| 葛迫委員 | ６月27日、瀬戸口藤吉翁のふるさとコンサートが開催され、お孫さんの瀬戸口典久さんから瀬戸口藤吉翁の愛用されたピアノが寄贈されお披露目さました。この贈呈されたピアノは資料を見る限りでは非常にいい感じでしたので、垂水市の有形文化財として後世に残せればと思っています。皆さんの意見をお伺いしたいと思います。 |
| 社会教育課長 | 今回、典久さんからは「ピアノを地元垂水市のたくさんの方に見ていただきたい」ということでお披露目させてもらいました。これから先の話はご家族ともまだ話をしていないところです。今後、どういう形がよいのかは、様々な意見を聞いていきたいと考えています。文化財指定するには、文化財保護審議会で議論がなされることになりますが、少しお時間をいただきたいと思います。 |
| 教育長 | ご提案をいただきましたので、いろいろとクリアしなければならないところもあるかもしれませんが、社会教育課で調べていただいて、審議していけたらと思います。 |
| ６　委員並びに教育長及び課長報告 | 委員並びに教育長及び課長報告に入ります。<br>まずは、葛迫委員からお願いします。 |
| 葛迫委員 | 平成8年鹿児島県作品展が8月27日木曜日から30日の日曜日まで鹿児島市の黎明館で開催されましたのでご報告させていただきます。29日土曜日、鹿児島市はサマーナイト花火大会の当日で市内は車で渋滞しておりましたけれども、黎明館に足を運び、垂水市内の小中学生の作品を中心に目を向けて観覧してきました。第2席の「県議会議長賞」に選ばれた垂水中央中学校2年の大迫埜々花さんの『自転車の休息』。本人によれば、「人の目は集中していると周りの風景がぼやけて見えます。それを表現するために、見てほしい部分にたくさんの色を塗り、周りの背景は水を多く使い描いた。」とのコメントがありました。自分の生活の一部にある道具を題材に取り入れたところに共感しました。描写力も中学生とは思えないものがあります。「市長会会長賞」には垂水中央中学校1年の迫田愛斗さんの『運動靴』が選ばれていました。本人によれば「影などを描くときに物の近くを濃くした。何度も色を重ねて靴の汚れた感じを出した。」とコメントがありました。大迫さんの作品と同じように自分の生活に関わっているものをモチーフ、題材として取り上げることは観覧者、観る人に中学生の想いや考え方などに説得力を感じさせ、描いた人たちの生活さえも感じ取ることができました。2点とも描写力に秀でた作品でした。今後が楽しみです。今年はこのほ |

| | |
|---|---|
| | か特選に牛根小学校6年の徳重丈輔さんの『屋根が緑の船』、垂水中央中学校3年の山本梨央さんの『時を結ぶ』が選ばれていました。また、入選には牛根小学校5年の森輝大さんの『「達磨」とかいてある牛根の船』、垂水中央中学校3年の竹下愛菜さんの『いつもの通り道』が選ばれていました。今年は特別賞2名、特選2名、入選2名、合計6名の小・中学生の作品が黎明館に展示され、各学校の指導された先生方に感謝し、お礼を申し上げたいと思います。 |
| 福里委員 | 娘が参加させていただく予定の「夢の翼」に向けて8月は研修会が数回ありました。最初は台湾にいく喜びが大きく、遊びに行く感じが強かったのですが、研修会を重ねていくたびに、少しずつ変化が見られるようになってきました。英語は得意ではないのですが、研修会で習ってきた中国語なども家で練習したり、台湾のことを調べたりするようになってきました。貴重な体験をさせていただくことに感謝しながら、真剣に取り組んでほしいなと思いました。初めてとったパスポートを何回も見て開いたりし、ずっと見ていました。<br>9月11日は中学校の研修視察で、鹿児島高校と城西高校を視察しました。両校全く違う感じで、いい刺激になりました。鹿児島高校は、私の母校なのですが、私が通学したときと違って、学習面でとても力を入れていて、いろいろな取り組みについての説明がありました。生徒が外部の人に全然挨拶もしてくれなくて、それがすごく残念に思いました。城西高校では様々な学科の説明を、生徒が行ってくれました。様々な学科があり、資格取得に特化している印象が大きかったです。また挨拶もしっかりしてくれて、好印象でした。今年度の3年生も私立を希望している子が多いようなので、私立の倍率がどんどん高くなるのかなと感じています。 |
| 田之上委員 | 8月の出校日に協和小学校で読み聞かせの時間に参加をさせていただきました。全校集会の中での1コマで短い時間でしたが、夏の時期になかなかおはなし会とかすることがないので、この時期に合わせた3つの話を子供もたちと一緒に楽しみました。暑い日が続いて室内で過ごすことも多いので子供たちが本を手に取るきっかけになってくれていたらいいなと思っています。そのあと引き続き、鹿児島大学の大富先生の錦江湾の深海魚についての子供たちへの学習を参観させていただきました。錦江湾がいかに豊かな海であるのか改めて知る機会となり、これから子供たちの学びの広がりをとても楽しみにしているところです。<br>この夏、かごしまメルヘン館で開催されている『教科書で出会う童話と絵本展』に行きました。国語の教科書に長年掲載されている童話や物語の挿し絵の原画や古い教科書などの展示があり、ゆっくりと物語の世界に浸ることができました。同じ物語が教科書を通して、世代を越えて身近にあることを実感しました。また、教科書会社によって採用している挿し絵の画家が違っていたり、教科書ということで、原作に加筆してあったり削ってあったりする対応もあることを知りました。昭和の時代から平成、令和と時を越えて同じお話が採用されているということで、若い世代から高齢の方々まで様々な世代の方々が、懐かしそうに作品や原画を見学されてい |

| | |
|---|---|
| | ました。昔の教科書も展示され、手にとることができたため、教科書のサイズや紙質などの変遷もわかり、大変有意義なときを過ごすことができました。<br>　最後に、児童クラブですが、お盆明けからも40～50人ぐらいの子供たちが利用しました。自分たちで作った折り紙や小物、お菓子などを並べて、お店屋さんごっこをしたり、ゲームをしたりして、楽しく過ごすこともありました。また、3年生以上を対象に、消防の方に救命のお話を伺ったりしました。その中で今年は1人だけだったのですが、119番通報を実際に体験させていただきました。その子の感想では、実際に電話をして、緊張して足が震えたと話していました。また、子供たちが、消防の方から、あなたの住所と言われたときに、自分の住所がはっきりわからない子供がいたことにちょっと驚いているところです。日常は朝早い時間に外遊びをした後、学校の体育館をお借りして体を動かせたことは本当に助かりました。<br>低学年の子供たちも、かねてはやらないモップを持って掃除をしたりすることも体験できました。また、学校の図書室の開放日は、学習タイムを読書タイムに変えて、希望する子は図書室でゆっくりと本を読む事もできました。休みが終わるころ、子供たちが少し成長したかなと感じるときがあり、うれしく思いながら2学期を迎えているところです。 |
| 吉冨委員 | 7月31日に、県の老人福祉会館で開催されました鹿児島県保育連合会の各地区会長会議に肝属地区の会長として参加しました。冒頭の県会長の挨拶で、先の熊本地震で薩摩川内市のある園では、外壁が剥がれ落ちる、エアコンが破損するなどの被害が出たことを報告されました。さらに、園児が在園してる時間帯での地震発生について、ガス漏れ事故も想定したリスク管理を呼びかけられました。協議1では、今後の保育連合会の活動について、「保育の力で地域と未来に希望を」と称し、保育の価値を地域社会へ発信することを重点に行い、子供を育てる保育士の生きがいを最大の価値ととらえ、社会へ発信するというものでした。県保育連合会の事業活動の基礎となる3つの価値観として、1点目「現場起点×実感」。子供と保育者の声に耳を傾け、制度や仕組みを効果的なものに作り変える。常に現場主義に立ち、目の前にいる人から考える。2点目「共創×協働」。地域、行政、企業、保育士養成講座と手を取り合い、ともに学び、ともに育て合う、保育への理解を地域に広げる。そして3点目「未来志向×専門性」。社会の変化に柔軟に対応しながら、子供たちの10年後を見据えた保育方針を構築する。専門性と実行力で「鹿児島の保育の未来をひらく」を掲げ、今後の活動方針を打ち出されました。協議2では、各地区の活動状況及び課題について発表がありました。鹿児島市を除く各地区では、少子化に伴う園児の定数の縮小で雇用の縮小、また、保育士の新規採用者や若手保育士の不足の課題が挙げられ、地方の保育園の存続に関わる問題が出てきているという状況でした。 |
| 教育長 | 　夏休み期間中、全国的にも県内でも子供たちの痛ましい事故の報道がある中で、垂水市の子供たちが元気で2学期を迎えられて、ありがたいことだと思います。<br>　8月20日の木曜日に先生方、全職員対象の夏季合同研修会を実施しまし |

| | |
|---|---|
| | た。昨年度は台風の影響で中止となりましたが、今回は市内の小・中学校の先生方に丸一日、GIGAの研修に浸っていただきました。研修会では鹿児島市教育委員会教育ＤＸ担当部長の木田博先生にご講話をいただきました。木田先生は、文部科学省の学校ＤＸ戦略アドバイザーで、垂水市の研究開発学校の取組を支える運営指導委員会の委員もお願いをしています。<br>講演の中では、「人を傷つけない、迷惑をかけない、法を犯さない」ための「情報技術の適切な取り扱い」をしっかり身に付けさせることが大事だというお話がありました。また、教師がゴールを示して、そこに至る学習の形態や学習の方法を子供たちが選択する「自由進度学習」について、「放任学習」になってはいけない。子供の取組状況や進度の把握をしながら、しっかり支える、支援することが大事であるという、本市の課題を踏まえた、とてもありがたいお話をしていただきました。<br>次にGoogle for Educationの茂野瑠美様による「授業や校務で使う生成AI体験」と題した、講義と演習を行いました。参加者からは、AIの活用の可能性と利便性について多くの学びがあったとの感想をいただきました。<br>さらに午後からは、鹿児島市教育委員会学校ICT推進センターの白土師直弘指導主事による「情報活用能力を育む学習者主体の授業づくり」と題した講義と演習を行いました。内容は、子供たちが身につけた情報活用能力をどうやって、ふるさと垂水に生かしていくかという話をしていただいて、実際に指導計画を作成する実践的な研修をしていただきました。これも2学期からの授業に直接繋がっていくものであったと感じています。<br>参加者の感想として、「木田先生の『自由進度学習』などの話を市内ほぼ全部の先生で聞けてよかった。全職員が同じ価値を共有できる機会となった」、「AIを実際に操作することで、実感を伴いながら、校務での利用をイメージできた」、「ふるさと垂水の見直しも行うことができ、とても役立った」といった声が聞かれました。<br>全小・中学校で取組を進めていくためには、必要不可欠な研修だと思いますので、次年度も充実を図っていきたいと思います。 |
| 教育総務課長<br>学校教育課長<br>社会教育課長 | ８月８日から９月 14 日までの主な行事等について各課長が報告。併せて、９月 15 日から 10 月９日までの行事予定についてお知らせした。 |
| ７　閉　会 | |